

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年9月21日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 国際日本学部 国際日本学科 |
| 留学先国 | アメリカ |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: ネブラスカ大学オマハ校 現地言語: University on Nebraska Omaha |
| 留学期間 | 2022年1月～2022年5月 |
| 留学した時の学年 | 2年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 2年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2022年5月26日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2024年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:1月下旬～5月中旬 2学期: 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 15000人以上 |
| 創立年 | 1908年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨 (\$) | 円 | 備考 |
|-------------|--------------|------------|------------------------------|
| 授業料 | 0 | 0円 | 交換留学のため |
| 宿舍費 | 5900 | 76700円 | |
| 食費 | 4000 | 390000円 | |
| 図書費 | 40 | 5200円 | |
| 学用品費 | 50 | 6500円 | |
| 携帯・インターネット費 | 100 | 13000円 | |
| 現地交通費 | 400 | 52000円 | またにUberを使用したため (☑大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 0 | 0円 | |
| 被服費 | 700 | 91000円 | |
| 医療費 | 400 | 52000円 | |
| 保険費 | 3000 | 390000円 | 形態:明治大学指定とUNOとの合算 |
| 渡航旅費 | 350 | 455000円 | 復路を再購入したため |
| ビザ申請費 | 160 | 20000円 | |
| 雑費 | 0 | 0円 | |
| その他 | 3000 | 390000円 | シカゴ・ニューヨークへの旅行 |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | 18,100 | 2,353,000円 | |

渡航関連

| |
|--|
| 渡航経路 |
| 往路 出発地:羽田 目的地:オマハ 経由地:ロサンゼルス 復路 出発地:オマハ 目的地:羽田 経由地:シカゴ |
| 渡航費用 |
| ①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:約 25 万円 |
| ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社:ANA 料金:13 万 ∴合計: |
| 航空券購入方法 |
| <input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他() |

滞在形態関連

| |
|---|
| 1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:University Village) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ |
| 2)部屋の形態 |
| <input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 3) |
| 3)共有部分 |
| <input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可) |
| 4)住居を探した方法: |
| UNO が提供する情報から |
| 5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人へのアドバイス) |
| University Village は Dodge キャンパス内にある学生寮です。設備はある程度は揃っていますが生活必需品は自分で買わなければいけないので注意してください。ルームメイトとの関わり方は各部屋によって様々です。仲のいい部屋もあればただのルームメイトとして関わっている部屋も多いです。女子部屋は前者の方が多い印象です。UNO Housing は日本人と同じ部屋にかためる傾向があります。もし嫌であれば連絡してみてください。実際、私も日本人と同じ部屋でしたが連絡した結果変えてもらうことができました。 |

現地情報

| |
|--|
| 1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所) |
| <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:) |
| 2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等) |
| <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:) |
| 3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか? |
| 現地にいる日本人や外国人にどの地域が危ないかなどをききました。日本とは違って夜は基本的に歩くことはできず、命に関わりそうな危険を感じたこともありました。 |
| 4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。) |
| SIM カードを事前に日本で購入しました。しかしその SIM からもらえる電話番号が香港のものだったので少し苦労した面もありました。私は現地についていきなり SIM カードを購入する勇気がなかったので事前に買いましたが現地で買うのもありだと思います。キャンパスと寮には WiFi があります。 |
| 5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。) |
| 基本的には日本のカードを使っていました。現地で銀行口座を開設しましたが送金してもらったのは一回です。日本からの手続きはとても煩雑です。円安にも注意して送金してもらいましょう。 |
| 6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。 |
| 万が一のために日本で買った薬は持っていった方がいいと思います。 |
| 7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。) |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|---|---|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 13 単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)履修登録の時期・方法及び履修制限 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ 単位の制限があります。また、授業によっては事前にテストを受ける必要があるものもあります。 | |
| 3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Public Speaking Funds | |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式 (チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に 50 分が 3 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | プレゼンテーションについての講義と演習 |
| 試験・課題など | 全部で大きなプレゼンが 5 回、授業内容の Unit Test が 3 回 |
| 感想を自由記入 | この授業はとて多くのクラスがあります。先生によって方針は変わってくるのでシラバスをよく読みましょう。日本での学部柄、日本人の前で英語でプレゼンは行ったことはあってもネイティブの前ではありませんでした。初めはものすごく緊張しましたが、この授業を終えた頃には自信を持ってネイティブの前でプレゼンをすることができました。オンラインと対面の両方が開設されていると思いますが勇気を出して底面を取ることをお勧めします。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| English Composition I | |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義 (チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に50分が3回 |
| 担当教授 | Emily Kersten |
| 授業内容 | ライティングについての授業。UNO が作った writing のテキストに則ってトピックが決められる。 |
| 試験・課題など | 5ページの writing が 3 回、教授によるとと思いますが私の教授は毎回 reading か writing の課題を出しました。 |
| 感想を自由記入 | 個人的には一番きつい授業でした。毎日この課題に追われているイメージで授業なくても発言を求められるためきつかったです。writing のトピックもネイティブアメリカやオマハの刑事制度についてなど難しいものでした。しかし、ひたむきに取り組んでいれば教授や UNO の Writing Center からサポートを受けることができます。この授業は履修前に英語の writing のテストを受ける必要があります。注意してください。 |

| | |
|---------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| World Challenge | |
| 科目設置学部・研究科 | international studies |
| 履修期間 | 1学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 7つのワールドチャレンジにしたがってその事実や解決策について学びます。生徒も様々な国籍の人が受講している印象です。教授もとても気さくないい方なので面白い授業だと思います。また教授がゲストスピーカーをよく呼んでくれるのでより深い内容も学ぶことができます。 |
| 試験・課題など | この授業の課題は基本的に global villager と各チャレンジの小テストで構成されています。前者は生徒一人一人が 国籍、年齢、性別などを割り振られてその立場からワールドチャレンジについて議論・writing するというものです。私はイタリアに住む 81 歳のおじいちゃんを割り振られました。この授業の最後には実際にその人になりきって他の生徒と議論するというものもあります。 |
| 感想を自由記入 | とても面白い授業だと思います。真面目に取り組んでいけば良い成績をもらえます。授業内容や課題も優しすぎず、難しすぎないので国際関係に興味がある方はこの授業を受講することをお勧めします。 |

| | |
|--------------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Introduction to Sustainability | サステナビリティ入門 |
| 科目設置学部・研究科 | |
| 履修期間 | 1学期間 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75 分が2回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | サステナビリティについての内包を幅広く学びます。この教授は現地の学生からも評判が良く実際とても面白くアメリカを感じれるような授業でした。コロナの関係でどうなるかわかりませんが私がとった時はフレキシブルな授業形態で知識を入れるような内容の時は対面ではなく自信で課題を進めていき、対面の時はそれらの知識を踏まえて少しアクティブな内容を行うというものでした。バスに乗って軽い遠足のようなものをしたり、学校のゴミの分別をしたり、サステナビリティフェアを開催してキャンパス内にいる生徒にサステナビリティ関連のものを発表するというものでした。 |
| 試験・課題など | 課題の量は比較的多いと思います。週によりますが20ページほどの文書を読んでクイズに答えたり、映画をみてアンケート書くなど個人的には量は多かったです。学期の最後には指定された本の中から一つ選んで book report を書く課題も出ます。 |
| 感想を自由記入 | 課題は少し多いかもしれませんが授業内容としてはかなり面白く、演習のようなアクティブな内容もあるので受講して損はないです。とにかく教授が良い人なのでこの教授が開設している他の授業をチェックしてみてもいいと思います。 |

卒業後の進路について

| |
|---|
| 1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他: |
| 2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など |
| 3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。 |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。 |
| なんとなくの情報は集めていました。それよりかは日本にいる就活を終えた先輩や現地で就活中の日本人から情報を収集していました。 |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。 |
| 7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。 |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例:語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

| | | |
|----------|---------|---------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |
| 留学開始年 | 1月～3月 | 1月中旬に到着 |
| | 4月～7月 | 5月下旬に帰国 |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

大枠として英語が学びたい、海外の人と交流したいというのが目標にあったので、「この大学のこの分野が進んでるから学びたいです!」のような大それた理由はありません。オマハ、そして UNO の周りは比較的田舎です。15 分ほど歩いて近くのスーパーには行けませんが基本的にキャンパス外で行動したい場合はバスを利用する必要があります。私は春学期に行ったのですがとにかく寒く、4 月に雪が降ったときは笑うしかありませんでした。大学の施設はしっかりしていて図書館やジムの設備は明治大学とは比べ物になりません。あまり娯楽がない代わりにオマハの人はとても親切な人が多い印象です。私はこのポイントが UNO を留学先にし、楽しむための大切なところだと考えます。じぶんから人と交流しに行かないとかなり厳しい留学になるということです。逆にいえばこの環境が自分を他人と関わるよう仕向けてくれるとも言えます。人との交流は英語力の向上だけでなく人とのつながりやそれから生まれる経験を生み、留学を最高のものしてくれます。他にも日本の文化がアメリカのど真ん中にどれほど浸透しているか、その他の細かな留学生活など書き記すことはいくらでもできますが、私は皆さんが自分自身で発見して感じた方が良いと思うのでこの辺りにしたいと思います。もし質問などがあれば気軽にメールしてください

留学を志す際は、留学で何がしたい! というのを決めてそれを軸に行動することが大切です。いつもと全く違う環境、日本の大学とは違う授業内容課題の量などで辛くなってしまったり何が正解なのかわからなくなる時が来ます。そんな時に自分の軸をしっかり決めておくことで新たに一步踏み出すことができると思います。皆さんがどの大学に行くことになるかはわかりませんが、自分の留学が一番でありやり切ったと思えるような留学になることを祈っています。